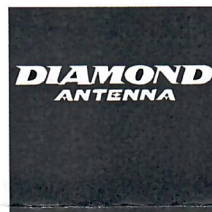


144MHz帯5/8λ・50MHz帯1/4λ高性能モービルアンテナ

DP-TRY2

全方向回転ホイップ付



取扱説明書

●ダイヤモンドアンテナお買いあげのみなさまへ

このたびはダイヤモンドアンテナをお買いあげいただきまして、ありがとうございました。この取扱説明書はアンテナの正しい取り扱い方法と、簡単な調整について説明してあります。よくお読みいただいたうえいつまでもすぐれた機能が発揮できるよう、本書を十分にいかしてご使用ください。

なお、お買いあげいただいた製品は厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、取扱店にお申し付けください。

●まえがき

144MHz帯車載用アンテナとして、いちばんオーソドックスな5/8λ、50MHz帯としては1/4λを採用した高利得・高能率2バンドモービルアンテナです。

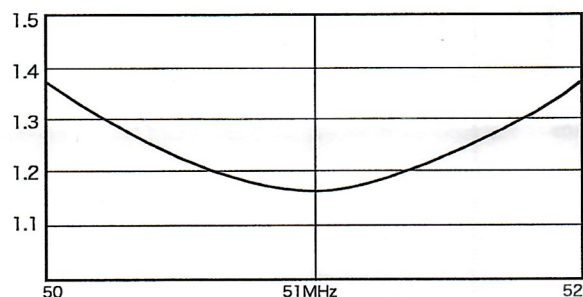
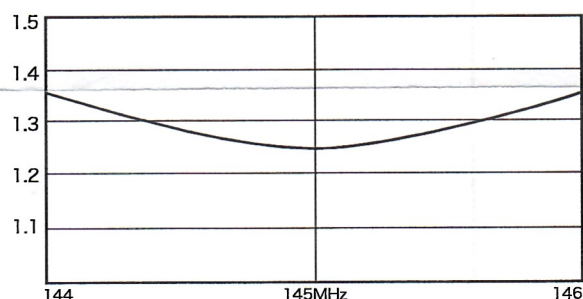
全方向回転ホイップ機構を装備しているため車庫入れ時のめんどろなアンテナ取りははずしが不要になりました。

●DP-TRY2の特長

1. ダイヤモンドアンテナ独自の高能率マッチングシステムにより、きわめて損失が少なく、さらに耐入力性も大巾に向上されました。
2. 144MHz帯は5/8λ高利得タイプ、50MHz帯はオーソドックスな1/4λ高能率アンテナとして動作する2バンドアンテナです。
3. エレメントは復元力にすぐれた17-7PHステンレスを採用。QSBの原因となるエレメントのゆれを少なくしました。
4. 全方向回転ホイップ機構(実用新案出願済)の採用により、車庫入れ時のめんどろなアンテナ取りははずしが不要

になりました。回転ホイップは、エレメントを引っ張りあげるようにして倒します。

●V.SWR表

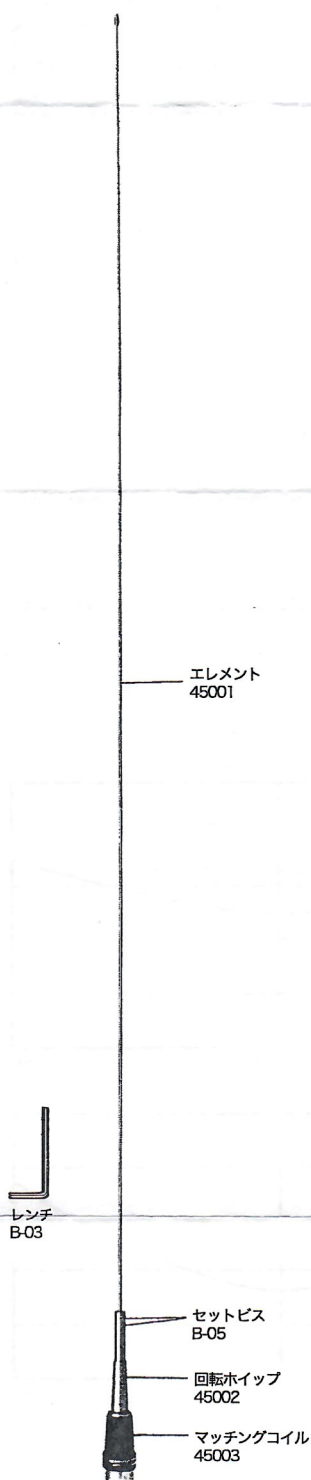


●ご注意

全方向回転ホイップ機構は360°どの方へも倒すことができます。走行中は倒さずに走行してください。万一倒して走行される場合は、エレメントを倒す位置にピタック(エレメント支持止め)を屋根に張りつけ、ピタックにエレメントをしっかり固定してください。

QSO中は特に他の車にご注意ください。安全運転で余裕のあるQSOを。

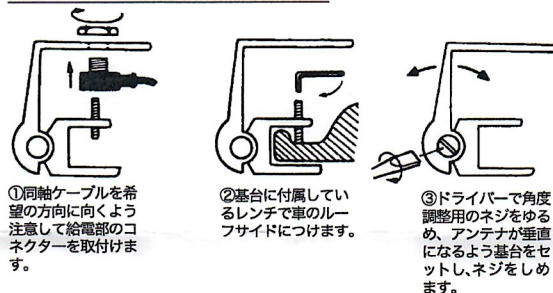
●パーツ名称(番号)



●取付方法

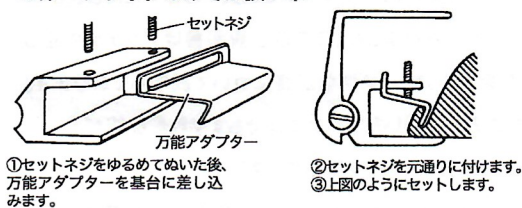
車のルーフサイドへアンテナ取付金具(オプション)を取付けます。基台の取付方法は下図のように行ないます。同軸ケーブルは50Ωのものをお使いください。周波数の調整はステンレスホイップを回転ホイップ部の中へスライドさせることによって変えられます。

万能アダプターを使用しない場合



万能アダプターを使用する場合

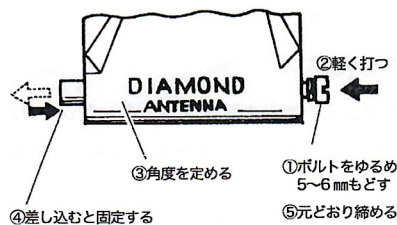
※ルーフサイドのみぞが狭い車



取り付け場合



角度を変える場合



●規格

周波数	インピーダンス	V.SWR	利得	全長	重量	耐入力	仕様
144～146MHz	50Ω	1.5以下	3.4dB	1.32m	200g	200W (CW)	5/8λ
50～54MHz			0dB				1/4λ 全方向回転ホイップ機構付

2011年9月 改訂版
© 2011第一電波工業株式会社